

2025

学習センター利用の手引



● ● 学生の皆さまへ

埼玉学習センターは、JR 大宮駅に隣接する大宮情報文化センタービル（JACK 大宮ビル）の 8 ～ 10F にあります。多くの路線が大宮駅へ乗り入れており、そこから徒歩数分ですので、県内各所から大変アクセスのよい場所です。ここで、教員、職員が学生のみなさまの学習意欲に応えるべく、ワンチームで支援しています。

学習センターには、3 つの大きな役割があります。

一つ目は、面接授業の実施です。この面接授業では、教員や学生仲間とリアルに接しながら学ぶことができます。担当するのは、各専門分野で活躍している教員です。当センターには、教室だけでなく、実験室や実習室もあり、これらの施設を利用して、毎年、学期ごとに 60 科目以上の多彩な面接授業が開講されています。ここで、在宅学習では十分な学習効果をあげることのできない科目や一人では体験できない実験・実習科目を受講できます。

二つ目は、図書室や視聴学習室の提供です。図書室には 4 万冊以上の書籍が配架され、研究や学習のため活用できます。また、広いスペースは、自習のためにも利用できます。高層階からの眺めがよいので、心地よく学ぶことができます。視聴学習室では、設置されたタブレットにより、放送授業を視聴することもできます。

三つ目は、教職員と学生、学生同士の交流の場であることです。一人で自宅で学ぶことも少なくない学生のみなさんをサポートするため、当センターでは、教員に学習相談をしたり、職員に直接問い合わせたりする機会を提供しています。また、学生同士の交流を図るため、教室、講堂などが、面接授業に差しさわりのない限り、グループ学習、学生の同窓会やサークルの活動に無償で開放されています。

このように、学習センターは、学生のみなさんにとって大学のキャンパスです。ここに集うのは、放送大学ならではの、年齢、経歴、職業などを異にする多様な学生です。仲間との交流を通じて、他では得ることのできない貴重な学びの経験が待っているはずです。

学習センターでのキャンパスライフを楽しみながら、学習、研究を進めてください。

埼玉学習センター
所長 川又 伸彦



放送大学学歌

那珂 太郎 作詞

柴田 南雄 作曲

(一)

あまたの星々のなかの この地球にあって
われらはまなぶ 世界を 自分を
われら どこから来て どこにゐるのか
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ
知は光 みどりの未来を展くため
いつでも どこでも
見えない友と 共に生き 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

(二)

はるかな永劫のなかの この時代にあって
われらは知らう 社会を 自然を
われら どこから来て どこへ行くのか
生きるとは知ること 知るとはよろこび
知は力 よりよい生を拓くため
朝に 夕に
親しい友と 語り合ひ 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

1. あ また の ほしほしの なかの この ち きゅ う に あっ て
2. は るか な えいごうの なかの この じ だ い に あっ て

わ れら は まし な う せ かい を じ ぶ ん を
わ れら は まし な う せ かい を じ ぶ ん を

わ れら ど こ か ら き て ど こ に い る の か
わ れら ど こ か ら き て ど こ へ い く の か

い き る と は まなぶこ と まなぶの は た の し み
い き る と は まなぶこ と まなぶの は た の し み

ち は ひ か り み ど り の み ら い を ひ ら く た め
ち は ひ か り み ど り の み ら い を ひ ら く た め

い つ で も ど こ で も み え な い と も と と も に い き と も に ま な ぶ
あ し た に ゆ う べ に し た し い と も と と か た り あ い と も に ま な ぶ

1.2. ひ ら か れ た だ い が く ほ う そ う だ い が く

目 次

学習センターについて	4
学年暦	6
年間予定表	10
施設の案内	14
図書室・視聴学習室の利用	16
図書の利用	17
学習上の注意事項等	18
面接授業	
面接授業追加登録	
放送授業の通信指導・単位認定試験	
放送授業の視聴	
次学期の科目登録	
通信指導・単位認定試験について	19
単位修得までの学習の流れ	20
学習相談・サロン	21
各種手続・証明書の発行	22
学生教育研究災害障害保険	
学割証の発行	
証明書の発行	
施設の利用・課外活動等	23
講義室・講堂等の利用	
無線LANの利用	
学生用掲示板	
サークル・学生団体	
学生研修旅行	
学生団体一覧	
埼玉学習センター関係団体	
DVD再視聴施設	26
放送大学本部・近隣の学習センター	27
学習センターの教員	28
所在・案内	31

学習センターについて

主 な 業 務

学習センターでは、次のような業務を行います。

- ① 面接授業の実施
- ② 学習上の各種相談
- ③ 図書・学術雑誌を備え、学習の参考に提供
- ④ 番組再視聴の機会を提供
- ⑤ 学生旅客運賃割引証および諸証明書の発行
- ⑥ グループ研究・討論会・サークル活動等のための施設提供

学習センターを利用できる人

- ① 本学の学生
- ② その他所長が利用を許可した者

利 用 上 の 注 意 事 項

1. 学習センター利用の際は、**必ず学生証を携帯してください。**
2. 学習センターとしての、**駐車場・駐輪場はありません。**
3. 学習センター内では静粛に願います。
4. 学習センター内では、学習上必要とする所持品以外は、無料コインロッカー（100 円硬貨が必要ですが、使用後に戻ります）を利用してください。
コインロッカーの利用は、当日限りです。貴重品は、必ず身につけておいてください。
5. 学習センター内は、火気の使用や危険物等の持ち込みは禁止されています。
6. 学習センター内は禁煙です。（喫煙所は、4 階にあります。）
7. 忘れ物は、10 階の「忘れ物保管庫」に展示してありますので、心当たりのある方は事務室に申し出てください。忘れ物の保管期間は届出日より 6 ヶ月間です。
8. 外部からの電話は、緊急のやむを得ない場合以外は取り次ぐことはできません。
9. **携帯電話・スマートフォン等はほかの人の迷惑にならないように、室内持込に際してはマナーモードにしてください。通話等はエレベーターホールでしてください。**
10. 学習センター内において、許可無く、宣伝・勧誘及び営利を目的とする販売等の活動を行うことは一切禁止します。

利用時間等

開所日	
火～日 (祝日等を除く)	
窓口、電話対応時間	図書館・視聴学習室・ロビーの利用時間
9:30～12:00 13:00～17:30	9:30～17:30

- ※ 機器整備、図書の整備等により、臨時に開所時間を変更する場合がありますので、埼玉学習センターのウェブサイトや掲示等に注意してください。
- ※ 学習センターの開所日および利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、埼玉学習センター以外を利用の際はご注意ください。

埼玉学習センター 面接授業時間帯

第1時限	9:50～11:20
第2時限	11:35～13:05
第3時限	14:05～15:35
第4時限	15:50～17:20

- ※ 授業構成により、最終日の授業終了時刻が異なります。また、学習センターにより、面接授業の時間帯は異なります。詳しくは、受講する授業について面接授業時間割表等でご確認ください。

埼玉学習センター ウェブサイト

埼玉学習センターのウェブサイトでは、施設の利用方法、開所スケジュール、イベントや各種手続の案内など、様々な情報を掲載しています。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>



1 2025年度 学年暦

第 1 学 期						
月	4	5	6	7	8	9
授 業	4/1			7/14 7/15		9/30
	授 業 期 間			夏期学習期間		
	4/4				8/29	
	オンライン授業					
	科目別に7月上旬までに課題締切。その後、8/29まで閲覧可能。					
手 続 き 等		5/1		7/10		
		ライブWeb 授業				
	4/12			7/27		
次 学 期 の 準 備	面接授業					
	上旬 履修許可通知	5/8～5/28 通信指導提出期間		7/16～7/20 (記述・併用) 7/16～7/24 (択一)	下旬 成績通知 卒業研究履修申請 (次年度)	
				単位認定試験		
				上旬 試験通知(受験票) 通信指導結果返送		
					8/15～8/28(郵送) 8/15～8/29(Web) 科目登録申請	
					9月上旬	
					授業料納入	
			上旬			中旬
			第2学期募集要項配布			
			上旬			中旬
出願受付期間						
※合否判定は複数回行います。						

1. 合否判定は、出願受付期間を数回に分けて行い、その都度合格通知書等を送付します。
2. 夏季集中科目の履修スケジュールは、夏季集中科目履修生用募集要項等をご参照ください。

第 2 学 期					
10	11	12	1	2	3
10/1			1/13	1/14	3/31
授 業 期 間			冬期学習期間		
10/3					3/2
オンライン授業					
科目別により1月上旬までに課題締切。その後、3/2まで閲覧可能。					
	11/1		1/10		下旬 学位記授与式 (本部主催)
ライブ Web 授業					
10/18			1/25		
面接授業					
	11/6～11/26		1/18～1/22 (記述・併用)		
	初頭 卒業研究報告書 提出期限	通信指導提出期間	1/18～1/26 (択一)		
			上旬 試験通知(受験票)	単位認定試験	下旬 成績通知
				2/13～2/27(郵送)	
				2/13～2/28(Web)	
				科目登録申請	
				3月上旬	
				授業料納入	
	下旬				中旬
2026 年度第 1 学期募集要項配布					
	下旬				中旬
出願受付期間					
※合否判定は複数回行います。					

3. 学年暦に変更が生じた場合には、学習センターへ掲示、システム WAKABA、放送などでもお知らせします。

4. 面接授業と一部のライブWeb授業の科目登録は、上記のほかに「追加登録」の機会があります。
詳細は、面接授業開設科目一覧をご覧ください。

1 2025年度 学年暦
(1) 修士課程

第 1 学 期						
月	4	5	6	7	8	9
授	4/1	7/14 7/15			9/30	
業	授 業 期 間				夏 期 学 習 期 間	
	オン ラ イ ン 授 業					8/29
	科目別に7月上旬までに課題締切。その後、8/29まで閲覧可能。					
手 続 き な ど	5/8～5/28 通信指導 提出期間		上旬 通信指導 結果返送	7/16～7/20 (記述・併用) 7/16～7/24 (択一) 単位認定試験 試験通知 (受験票)	下旬 成績 通知 8/15～8/28 (郵送) 8/15～8/29 (Web) 科目登録 (修士全科生・修士選科生)	
研 究 指 導 ・ 修 了	4/5 4/6 入学時 オリエン テーション (臨床以外)	5/12 入学時 オリエン テーション (臨床)	8/18 研究レポ ートⅠ 提出期限			
				8/18 修士論文中間報 告 (研究レポ ートⅢ) 提出期限		
臨 床 心 理 学 プ ロ グ ラ ム	5/13-14 18 5/15-17 基礎臨床 実心習理 (Ⅰ) (1年次)		臨床演習 理(Ⅰ) (1年次)	8/5～8 8/9～10 8/21～22 査臨床 定床演 心習理 (Ⅱ) (1年次)	基礎臨床 実心習理 (Ⅱ) (1年次)	臨床 面接実習 授実習 (2年次)
修 士 全 科 生 募 集	中旬 修 士 全 科 生 募 集 要 項 配 布			下旬 出願受付		
修 士 選 科 生 募 集	上旬 第 2 学 期 募 集 要 項 配 布			中旬 授 業 料 納 入		
	上旬 出 願 受 付 期 間			中旬		

1. 修士選科生・修士科目生の合否判定は、出願受付期間を数回に分けて行い、その都度合格通知書などを送付します。

第 2 学 期					
10	11	12	1	2	3
10/1			1/13 1/14		3/31
授 業 期 間			冬 期 学 習 期 間		
オン ラ イ ン 授 業					3/2
10/3	科目別に1月上旬までに課題締切。その後、3/2まで閲覧可能。				
	11/6~11/26 通信指導 提出期間		1/18~1/22 (記述・併用) 1/18~1/26 (択一) 上旬 試験通知 単位認定試験 試験指導結果返送 (受験票)	下旬 成績通知 2/13~2/27 (郵送) 2/13~2/28 (Web) 科目登録 (修士全科生・修士選科生)	
				2/18 研究レポートⅡ 提出期限	
		12/18 修士論文 の提出期限	上旬～下旬 ← 修士論文審査期間 (口頭試問を含む) →		下旬 学位記 授与式 (本部主催)
				2/4～8 基礎臨床 実心理 習(3) (1年次)	
臨床心理実習 (2年次 外部実習施設において12月下旬までに90時間)					
入 学 者 選 考 (一 次 ・ 二 次)		合格 通知			
		下旬	2026年度第 1 学期募集要項配布		中旬
				上旬	授業料納入
		下旬	出 願 受 付 期 間		
					中旬

2. 学年暦に変更が生じた場合には、学習センターへ掲示、システムWAKABA、放送などでもお知らせします。

2025年度第1学期 予定表

4 月 (April)			5 月 (May)			6 月 (June)		
1	火	放送授業開始(～7/14)	1	木	閉所日	1	日	
2	水				ライブWeb授業開始(～7月中旬)	2	月	閉所日
3	木		2	金	閉所日	3	火	
4	金	オンライン授業開始 (～科目毎の課題提出期限まで)	3	土	閉所日(憲法記念日)	4	水	
			4	日	閉所日(みどりの日)	5	木	
5	土	入学者の集い(予定)	5	月	閉所日(こどもの日)	6	金	
6	日		6	火	閉所日	7	土	
7	月	閉所日	7	水		8	日	
8	火		8	木	通信指導提出期間開始(Web)	9	月	閉所日
9	水		9	金		10	火	
10	木		10	土		11	水	
11	金	面接授業空席発表 面接授業追加登録申請受付開始	11	日		12	木	
			12	月	閉所日	13	金	
12	土	面接授業開始(～7/27)	13	火		14	土	
13	日		14	水		15	日	
14	月	閉所日	15	木		16	月	閉所日
15	火		16	金		17	火	
16	水		17	土		18	水	
17	木		18	日		19	木	
18	金		19	月	閉所日	20	金	
19	土		20	火		21	土	
20	日		21	水		22	日	
21	月	閉所日	22	木		23	月	閉所日
22	火		23	金		24	火	
23	水		24	土		25	水	
24	木		25	日		26	木	
25	金		26	月	閉所日	27	金	
26	土		27	火		28	土	卒業研究ガイダンス(予定)
27	日		28	水	通信指導提出期限(Web～17時)	29	日	
28	月	閉所日	29	木		30	月	閉所日
29	火	閉所日(昭和の日)	30	金		上旬:卒業研究履修の手引 配布 上旬:学生募集要項配付開始 ・出願受付開始(次学期入学 学部生・修士選科生・修士科目 生、次年度入学 修士全科生・ 博士全科生)		
30	水	閉所日	31	土				

注) この学年暦は、2025年4月1日現在の予定であり、
変更になる場合があります。



7 月 (July)			8 月 (August)			9 月 (September)		
1	火		1	金		1	月	閉所日
2	水		2	土		2	火	
3	木		3	日		3	水	
4	金		4	月	閉所日	4	木	
5	土		5	火		5	金	図書室・視聴学習室閉室
6	日		6	水		6	土	図書室・視聴学習室閉室
7	月	閉所日	7	木		7	日	図書室・視聴学習室閉室
8	火		8	金		8	月	閉所日
9	水		9	土	閉所日	9	火	図書室・視聴学習室閉室
10	木		10	日	閉所日	10	水	図書室・視聴学習室閉室
11	金		11	月	閉所日 (山の日)	11	木	図書室・視聴学習室閉室
12	土		12	火	閉所日	12	金	
13	日		13	水	閉所日	13	土	埼玉フェスタ (予定)
14	月	閉所日	14	木	閉所日	14	日	埼玉フェスタ (予定)
15	火	閉所日	15	金	閉所日	15	月	閉所日 (敬老の日)
16	水	単位認定試験	16	土	閉所日	16	火	閉所日
17	木	単位認定試験	17	日	閉所日	17	水	
18	金	単位認定試験	18	月	閉所日	18	木	
19	土	単位認定試験	19	火		19	金	
20	日	単位認定試験 ※1	20	水		20	土	
21	月	閉所日 (海の日)	21	木		21	日	
22	火	単位認定試験	22	金		22	月	閉所日
23	水	単位認定試験	23	土		23	火	閉所日 (秋分の日)
24	木	単位認定試験 ※2	24	日		24	水	
25	金		25	月	閉所日	25	木	
26	土		26	火		26	金	
27	日		27	水		27	土	卒業証書・学位記授与式 ・生涯学習奨励賞授与式 (予定)
28	月	閉所日	28	木	次学期 科目登録申請期限 (郵送)	28	日	
29	火		29	金	次学期 科目登録申請期限 (Web)	29	月	閉所日
30	水		30	土		30	火	
31	木		31	日		中旬:出願受付期限 (次学期入学 学部生・修士選科生・修士科目 生)		

- ※1 Web試験 (記述式・併用式科目) 成績発表日: 8月15日 (金) 頃予定
: 17時まで
郵送試験: 必着
※2 Web試験 (択一式科目): 17時 下旬: 出願受付期限 (次年度入学
まで 修士全科生・博士全科生)



2025年度第2学期 予定表

10 月 (October)			11 月 (November)			12 月 (December)		
1	水	放送授業開始(～1/13)	1	土		1	月	閉所日
2	木		2	日		2	火	
3	金	オンライン授業開始 (～科目毎の課題提出期限まで)	3	月	閉所日(文化の日)	3	水	
			4	火		4	木	
4	土	修士全科生・博士全科生 次年度 入学者選考(第1次)	5	水		5	金	
			6	木	通信指導提出期間開始(Web)	6	土	
5	日	入学者の集い(予定)	7	金		7	日	
6	月	閉所日	8	土		8	月	閉所日
7	火		9	日		9	火	
8	水		10	月	閉所日	10	水	
9	木		11	火		11	木	
10	金		12	水		12	金	
11	土		13	木		13	土	
12	日		14	金		14	日	
13	月	閉所日(スポーツの日)	15	土		15	月	閉所日
14	火	閉所日	16	日		16	火	
15	水		17	月	閉所日	17	水	
16	木		18	火		18	木	
17	金	面接授業空席発表 面接授業追加登録申請受付開始	19	水		19	金	
			20	木		20	土	
18	土	面接授業開始(～1/25)	21	金		21	日	
			22	土		22	月	閉所日
19	日		23	日	閉所日(勤労感謝の日)	23	火	
20	月	閉所日	24	月	閉所日	24	水	
21	火		25	火	閉所日	25	木	
22	水		26	水	通信指導提出期限(Web～17時)	26	金	
23	木		27	木		27	土	
24	金		28	金		28	日	閉所日
25	土		29	土		29	月	閉所日
26	日		30	日		30	火	閉所日
27	月	閉所日	下旬：学生募集要項配布開始 ・出願受付開始(次学期入学 学部生・修士選科生・修士科目 生)			31	水	閉所日
28	火							
29	水							
30	木							
31	金	ライブWeb授業開始(～1月中旬)						

※青字箇所修正
2025.6



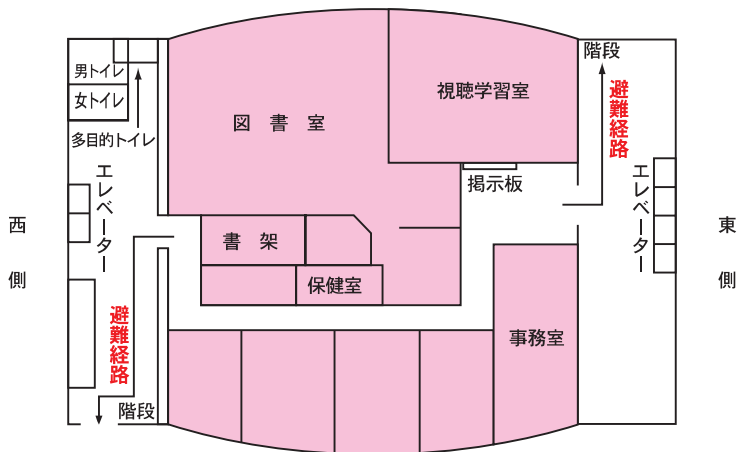
1 月 (January)			2 月 (February)			3 月 (March)		
1	木	閉所日	1	日		1	日	
2	金	閉所日	2	月	閉所日	2	月	閉所日
3	土	閉所日	3	火		3	火	
4	日	閉所日	4	水		4	水	
5	月	閉所日	5	木		5	木	
6	火	閉所日	6	金		6	金	図書室・視聴学習室閉室
7	水		7	土		7	土	図書室・視聴学習室閉室
8	木		8	日		8	日	図書室・視聴学習室閉室
9	金		9	月	閉所日	9	月	閉所日
10	土		10	火	閉所日			図書室・視聴学習室閉室
11	日		11	水	閉所日 (建国記念の日)	10	火	図書室・視聴学習室閉室
12	月	閉所日 (成人の日)	12	木		11	水	図書室・視聴学習室閉室
13	火		13	金	次学期 科目登録申請受付開始	12	木	図書室・視聴学習室閉室
14	水		14	土		13	金	
15	木		15	日		14	土	
16	金		16	月	閉所日	15	日	
17	土		17	火		16	月	閉所日
18	日	単位認定試験	18	水		17	火	
19	月	閉所日	19	木		18	水	
		単位認定試験	20	金		19	木	
20	火	単位認定試験	21	土		20	金	閉所日 (春分の日)
21	水	単位認定試験	22	日		21	土	
22	木	単位認定試験 ※1	23	月	閉所日 (天皇誕生日)	22	日	
23	金	単位認定試験	24	火	閉所日	23	月	閉所日
24	土	単位認定試験	25	水		24	火	
25	日	単位認定試験	26	木		25	水	
26	月	閉所日	27	金	次学期 科目登録申請期限 (郵送)	26	木	
		単位認定試験 ※2	28	土	次学期 科目登録申請期限 (Web)	27	金	
27	火		成績発表日:2月13日(金)頃予定			28	土	
28	水					29	日	
29	木					30	月	閉所日
30	金					31	火	
31	土							

※1 Web試験(記述式・併用式科目):17時まで
郵送試験:必着
※2 Web試験(択一式科目):17時まで

中旬:出願受付期限(次学期入学学
生・修士選科生・修士科目生)
下旬:卒業証書・学位記授与式(予定)
下旬:生涯学習奨励賞授与式(予定)



10階



事務室

履修に関する相談対応、各種手続き、学生証や証明書の発行等を行います。

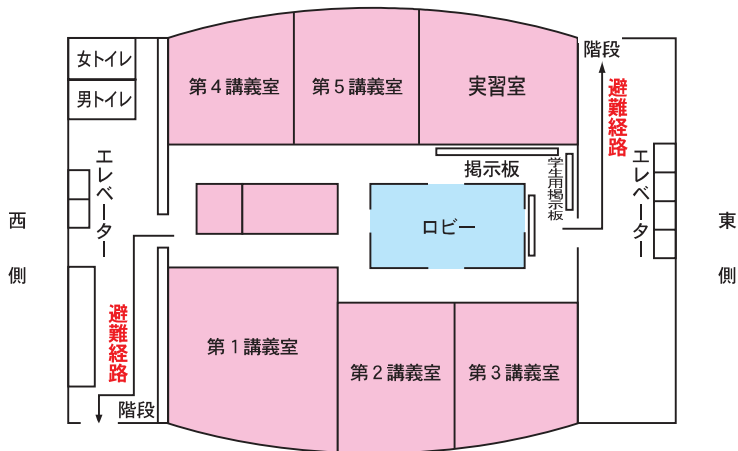
図書室・視聴学習室

図書室、視聴学習室の利用については、16ページをご参照ください。

保健室

気分が悪くなった時などに利用する場合は、事務室へお申し出ください。

9階



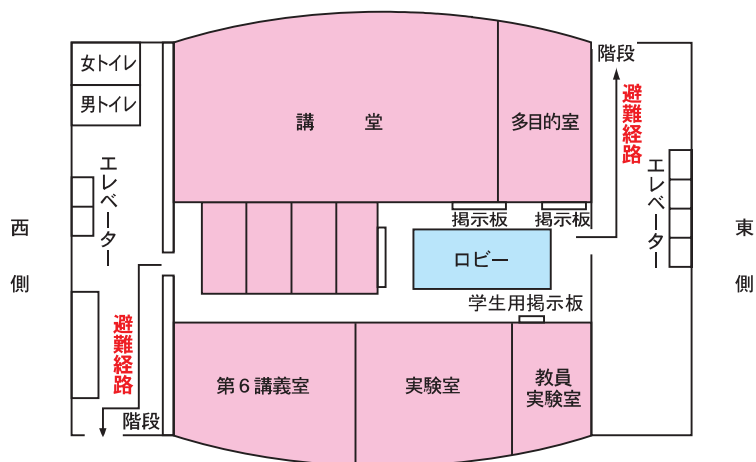
講義室・実習室

面接授業等に使用します。

ロビー

学習の合間の休憩にご利用ください。
(実習室での受講生が昼食で使用する際は、お譲りください。)

8階



講堂・多目的室

入学者の集い、卒業式、講演会、面接授業等に使用します。

講義室・実験室

面接授業等に使用します。

ロビー

学習の合間の休憩にご利用ください。
(実験室での受講生が昼食で使用する際は、お譲りください。)



入学者の集い



卒業証書・学位記授与式

図書室・視聴学習室の利用

図書室には、**辞典・事典**などの参考図書、授業に関連した各分野の**代表的図書、雑誌、新聞**が備えられており、これらの閲覧等のサービスを行っています。

また、視聴学習室では、放送授業視聴用パソコンを備えており、開講中の放送授業を視聴できます。

放送大学の学生であれば誰でも利用できます。利用規程及び下記の利用方法、留意事項を守ってご利用ください。

入 室

入室の前に**学生証を窓口**に提示してください。

※ 12～13時は窓口を閉鎖しているため、新規の入室および退室（学生証の受け渡しを伴うもの）はできません。食事、休憩等で席を一旦離れる場合はカードキーを携帯してください。

※ 学習に必要なもの以外はロッカーに預けてください。貴重品は各自で管理をお願いします。飲食および飲食物の**持込は禁止です**。

※ 音の出る機器の使用や会話は慎んでください。

携帯電話・スマートフォンはマナーモードにしてください。

※ 自分のパソコンを持ち込んで学習する場合は、視聴学習室を利用してください。

※ 混雑状況により時間制限を行う可能性があります。

図 書 の 覧

埼玉学習センター所蔵の図書は閲覧のみです。

☆ **閲覧後、図書資料は、必ずもとの場所に戻しておいてください。**

文 献 複 写

「文献複写申込書」に所定の事項を記入し、複写する図書資料と学生証を、受付窓口提出してください。

※ 料金は白黒1枚10円、カラー1枚50円です。

※ 受付時間は、閉室の30分前までです。

※ 著作権法により、次のような制限があります。

- ・ 本センターの図書室にある図書であること。
- ・ 学習上、研究上必要なものであること。
- ・ 図書の場合、全体の頁数の半分以上を超えないこと。
- ・ 一人につき一セットにすること。



放送授業の 視聴のしかた

放送授業視聴用パソコンでシステム WAKABA にログインして、「放送授業のインターネット配信」からご視聴ください。

機器の操作・使用法について疑問がございましたら係員にお問い合わせください。

※ 閉講となった科目のインターネット配信はありません。

再試験受験のため閉講科目の視聴を希望する学生は、学生生活の葉巻末の「放送教材郵送貸出申込書」、もしくはインターネット申込(<https://www.ouj.ac.jp/for-students/borrow-dvd>)にて大学本部へお申し込み（ご自宅への取寄せ）をしてください。

※ イヤホンの貸出はございませんので、各自ご用意ください。

図書の利用

検 索

書名や著者名が分かっている場合は、放送大学附属図書館の検索サイト (OPAC <https://catalog.ouj.ac.jp/>) により、検索するのが便利です。OPAC とは Online Public Access Catalog の略で〈図書館蔵書検索システム〉のことです。本部図書館・他学習センター・他大学の蔵書などの資料の所在場所や状況がわかります。

附属図書館 所蔵図書の 貸出・返却

附属図書館は放送大学生であれば誰でも利用できます。(来館の際は、学生証が必要となります。)

附属図書館に直接行くことができない場合でも、OPAC での申込み等により、図書の貸出が可能です。

貸出可能冊数は以下のとおりです。

		貸出冊数	貸出期間
本学の大学院生 (休学者除く)	博士後期課程	30 冊以内	1 ヶ月
	修士課程	20 冊以内	
本学の卒研履修者		20 冊以内	
本学の学部学生 (休学者除く)		10 冊以内	

※予約者がいない場合、1 回のみ貸出期間の延長が可能です。(期間は延長手続きの日より 2 週間。)

※返却は窓口をお願いします。

閉室後は 10 階エレベーターホールのブックポストにご返却ください。

※図書を延滞中の学生は、新たな図書の貸出サービスを受けられなくなりますのでご注意ください。

※図書を破損・紛失した場合は、必ず学習センターに連絡のうえ、指示を受けてください。

附属図書館 経由のサービス

貸出のほかにも、以下のサービスを受けることができます。

①レファレンスサービス (参考調査)

②附属図書館資料の文献複写

③学生図書リクエスト

④他大学図書館等の利用 (閲覧利用 (許可証が必要) / 文献複写 / 現物貸借依頼)

※附属図書館の利用やサービス等については「図書館利用案内」または附属図書館ウェブサイト (<https://lib.ouj.ac.jp>) をご覧ください。

ネットライブラリー (電子ブック)

放送大学生は、電子ブックを自宅でも読むことができます。

附属図書館ウェブサイト→電子ブック・電子ジャーナル→EBSCO (eBooks)、SpringerLink (eBooks) 等で検索してください。

埼玉大学 図書館の利用

学生証を提示し、所定の手続きを経て閲覧、文献複写ができます。詳細については、埼玉大学図書館にお問い合わせください。

学習上の注意事項等

面接授業

1. 面接授業の受講にあたっては、「面接授業時間割表」で開講日・時間帯、授業内容を必ずご確認ください。
2. 科目申請を行っても定員の都合上受講できない場合もあるので、後日送付される「科目登録決定通知書」でご確認ください。科目登録で決定されたものについては、取消、クラスおよび学習センターの変更は認められません。
3. 面接授業の開講日および担当講師は、都合により変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
4. レポートの提出方法・締切日は、科目毎に異なりますので授業で示します。FAXでの提出は認めておりません。なお、科目によってはレポートを返却する場合がありますので、授業で確認してください。
5. 面接授業は、教養学部生のみ科目登録することができます。

面接授業 追加登録

科目登録決定後、空席のある授業科目については、追加登録を受け付けます。追加登録の方法については埼玉学習センターのウェブサイト、システム WAKABA などでお知らせします。

放送授業の 通信指導・ 単位認定試験

原則、自宅等で Web 提出・Web 受験となります。放送大学のウェブサイトに掲載の体験版で、事前に操作の練習をお願いします。

通信指導は各学期の途中で行います。期限までに未提出又は不合格の場合は、その科目の当該学期の単位認定試験を受験できません。

19 ページもご参照ください。

放送授業 の視聴

B5 放送 テレビ 231ch、232ch、ラジオ 531ch
インターネット配信、ひかり TV

※地上放送テレビ・ラジオの放送は 2018 年 9 月末で終了しました。

※インターネットラジオ radiko (ラジオ) は 2024 年 3 月末で終了しました。

次学期の 科目登録

放送大学では、次学期に履修する授業科目は、前学期中に申請することとされています。(例年 8 月中旬～下旬、2 月中旬～下旬) 今学期で学籍が切れる方は、継続入学の手続きと併せて申請を行ってください。

システム WAKABA からの申請をお勧めします。(郵送の場合は「科目登録申請要項」により、必要書類を本部に郵送ください。) 本部で選考のうえ、「科目登録決定通知書」が送付されますので、期限までに授業料を納入ください。

通信指導・単位認定試験について

【通信指導は、原則、自宅等での Web 提出となります。】

単位認定試験も、原則、自宅等での Web 受験となります。】

※各科目の実施方法・出題形式（択一式・記述式・併用式）は、各学期の「授業科目案内」に記載していますので、必ずご確認ください。

（郵送提出科目・郵送受験科目は一部のみです。通信指導では 5 科目、単位認定試験では 4 科目の予定。）

※予定と記載のある日程は、変更となる場合があります。

<第 1 学期日程>

通信指導提出 期間	Web 提出科目	5 月 8 日（木）～5 月 28 日（水）17:00
	郵送提出科目	5 月 14 日（水）～5 月 28 日（水）<必着>
受験票発送日		7 月 1 日（火）頃予定
単位認定試験 期間	Web 試験	○ 記述・併用式科目 7 月 16 日（水）9:00～7 月 20 日（日）17:00 ○ 択一式科目 7 月 16 日（水）9:00～7 月 24 日（木）17:00
	郵送試験	7 月 16 日（水）～7 月 20 日（日）<必着>
成績発表日		8 月 15 日（金）頃予定

<第 2 学期日程>

通信指導提出 期間	Web 提出科目	11 月 6 日（木）～11 月 26 日（水）17:00
	郵送提出科目	11 月 12 日（水）～11 月 26 日（水）<必着>
受験票発送日		12 月 26 日（金）頃予定
単位認定試験 期間	Web 試験	○ 記述・併用式科目 1 月 18 日（日）9:00～1 月 22 日（木）17:00 ○ 択一式科目 1 月 18 日（日）9:00～1 月 26 日（月）17:00
	郵送試験	1 月 18 日（日）～1 月 22 日（木）<必着>
成績発表日		2 月 12 日（木）頃予定

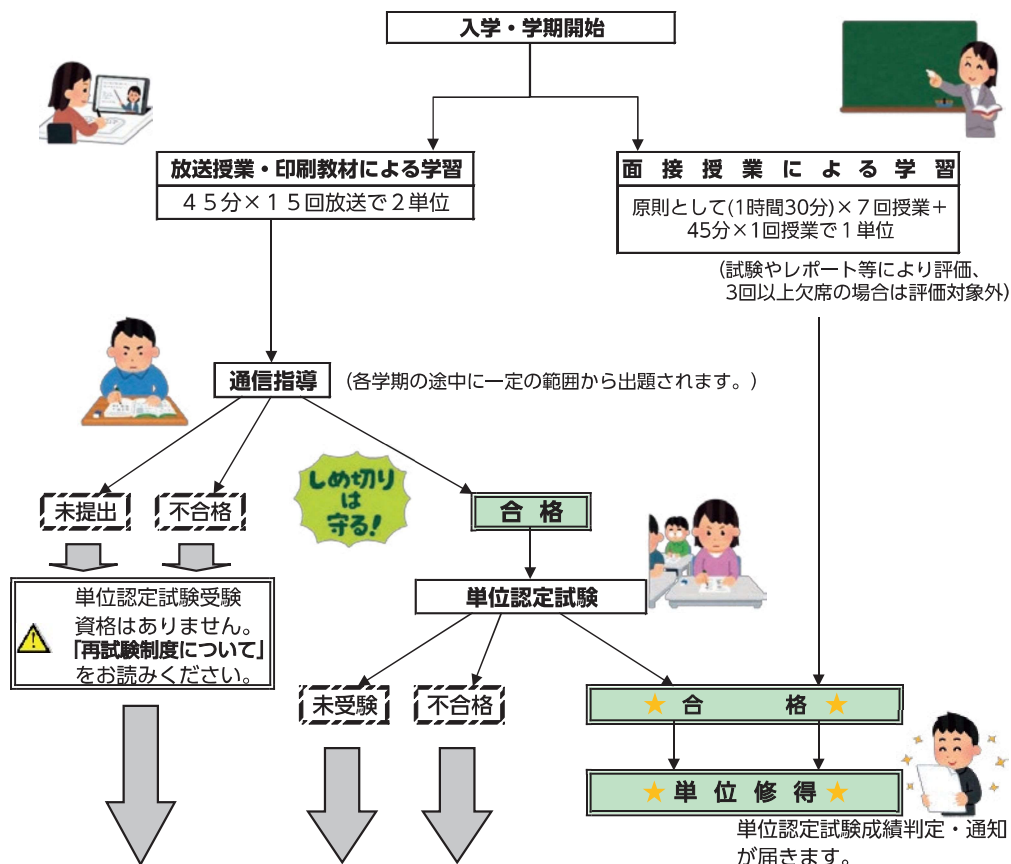
【自宅等での Web 提出・Web 受験が困難な場合】

自宅等にインターネット環境がない等により、Web 提出・Web 受験が困難な場合は、所定の手続きを行うことで、通信指導を郵送で提出、単位認定試験は学習センターで受験（基本的には Web 受験）に変更することが可能です。期日までに「学生生活の栞」巻末に付属する申請書を本部に提出するか、システム WAKABA で申請してください。

学習センターで単位認定試験を受験する場合は、必ず本部や学習センターからの郵送物等により、持参物や注意事項を確認してから来所をお願いします。

単位修得までの学習の流れ

※オンライン授業、ライブWeb授業については、放送大学ウェブサイトや各科目のシラバスをご参照ください。



【 再試験制度について 】

次学期にも引き続き学籍がある場合（今学期で学籍が終了し、継続入学する場合も含む）に限り、科目登録を行わなくても、以下のとおり再試験が可能です。

- ◎ 通信指導未提出・不合格の方は、次学期に限り再提出ができ、合格すれば再試験が受けられます。
- ◎ 通信指導合格で単位認定試験未受験・不合格の方は、次学期のみ再試験が受けられます。

再試験は1回のみです。再試験でも不合格の場合は新たに科目登録（在学期間が無くなる場合は再度入学）が必要です。

再試験受験のため、閉講科目の視聴を希望する学生は学生生活の葉巻末の「放送教材郵送貸出申込書」にて大学本部へお申し込みください。

（補足）夏季集中型科目の再試験の取り扱いとは異なります。通信指導未提出又は不合格の場合、再試験は受験できません。

学 習 相 談

学習の方法、進め方、放送大学大学院進学など、就学上の諸問題について、当センターの客員教員が相談に応じます。必ずしも専門分野にこだわらず一般的な相談も可能です。ただし、通信指導・単位認定試験・大学院入試の出題内容に関することや、本学と関係ない内容、担当者が不適切と判断したものは、対応致しかねますのでご了承ください。

なお、相談内容については対応者および関係教職員限りとし、秘密は厳守されますので、ご安心ください。

※履修方法や各種申請等の相談については、メールやお電話でご連絡いただければ、事務職員が随時対応します。

※放送授業の主任講師に対する質問については、学生生活の栞「質問について」のページを参照願います。

<学習相談の申込み方法>

①メール・FAX による申込み

学習相談の申込みは下記の項目をメール（又はFAX）で、項目・内容を列記のうえ送信願います。希望者と教員双方の日程調整をしたうえで相談日を決定します。

宛先 saitama-sc @ ouj.ac.jp (FAX の場合は 048-858-2615)

件名 【学習相談】(学生番号 氏名)

本文 1. 相談希望教員

 2. 相談内容（箇条書きで具体的に記載してください。）

※セキュリティ上の理由から、添付ファイルがある相談メールは開封できませんので、必ずメール本文にご入力ください。

②「学習相談申込票」による申込み

申込票は窓口にございますので、お声がけください。

サ ロ ン

所長・客員教員によるミニセミナー“サロン”を、学生を対象に不定期に開催しています。専門から身近な話題まで、わかりやすく話し、学生の皆さんが自由に質問・討論に参加できる、授業とはひと味ちがったひとときです。

学習センターウェブサイト、ポスター掲示などで随時お知らせします。申込みは学習センター窓口、または電話（048-650-2611）にて、お気軽にお申し込みください。

各種手続・証明書の発行

学習センターでは「学生証再発行願」、「教養学部生の住所等変更届」のみ受付可能です。(システム WAKABA でも手続き可)

上記以外の届出、変更は放送大学本部もしくはシステム WAKABA にてお手続きください。

学生教育研究 災害障害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度があります。

手続きは、**事務室に学生証と保険料を添えて申し込んでください。**

保険名称	主な適用事項	保険料	保険期間
学生教育研究災害 傷害保険	正課中の事故に 対する治療費	100円	原則として6年間 (ただし連続して同じ 学籍に在学中である こと)
通学中等傷害危険 担保特約(付帯)	通学中の事故に 対する治療費	40円	
賠償責任保険(付帯)	正課中の他人へ の賠償	340円 (年額)	1年毎(在学中)

※保険終期は入学時期により異なります。(4月入学は3月末、10月入学は9月末)

学割証の発行

●一般普通回数乗車券(片道 200km以内の同一往復路を利用する場合)と普通乗車券(片道 100kmを超えて卒業研究の調査・研究のための移動、面接授業の受講および単位認定試験の受験等の場合)があります。

●利用が認められる範囲

教養学部全科履修生および大学院修士全科生・博士全科生が、自宅「最寄駅」から所属の学習センター等に、次の目的で通学等する場合

- ① 面接授業の受講および単位認定試験の受験をする場合
- ② 所属学習センターの図書室・視聴学習室の利用
- ③ オリエンテーションおよび学習相談への出席
- ④ 教養学部卒業研究の調査のため指導教員の指示により旅行する場合および大学院修士全科生・博士全科生が研究指導のため指導教員の指示により移動する場合、又は学外における実習を行う場合

証明書の発行

在学証明書や成績・単位修得証明書等の発行については、事務室でお手続きください。

証明書の発行手数料は、1通につき 200 円です。

郵送で申し込むこともできます。以下を同封ください。

- ① **諸証明書交付願**
- ② **手数料**(定額小為替又は現金書留)
- ③ **返信用封筒**<長形 3 号>に切手貼付・宛名明記

施設の利用・課外活動等

講義室・講堂等の利用

講義室・講堂等の利用は窓口およびメールでの申込みとなります。
ただし、単位認定試験、大学院入学試験、面接授業、その他の行事等のため（準備や撤収にかかる日程も含め）、利用ができないことがあります。貸出を希望する場合は、埼玉学習センターにお問合せください。

無線LANの利用

学習センター内では、学習を目的とした学生用無線LANサービス(WiFi-houdai)の利用が可能です。ただし、利用にあたっては事前にシステムWAKABAにて情報セキュリティ研修を修了し、オンライン申請を行う必要があります。

詳しくは、「学生生活の栞」をご覧ください。

学生用掲示板

8階および9階ロビーに学生用掲示板があります。文書・ポスター等の掲示を希望する場合は、「文書掲示願」を提出し許可を受けてください。**掲示期間は3週間以内です。**

なお、埼玉CSC交流会加盟学生団体および埼玉学習センター学生団体については、新規メンバー勧誘を目的としたサークル紹介掲示（活動日等情報は含まれないものとする）に限り、申請のあった学期翌学期開始後1ヶ月までとなります。

サークル・学生団体

学生が互いに研究会・勉強会およびスポーツ活動を行うために、サークル・学生団体を設立し、活動を通じて学生相互の親睦を深めています。（団体設立は「学生生活の栞」を参照）

サークル・学生団体については、「学生団体一覧」（24～25ページ）をご参照ください。

学生研修旅行

教育の一環として、知識を深め、教養を高め、併せて教職員と学生相互の交流を図るために、年間に1回の予定で実施しています。

実施日時等については、埼玉学習センターのウェブサイト、ポスター掲示などでお知らせします。

学生団体一覧

団 体 名	目 的	連 絡 先
パソコンサークル C o m p a s s	誰もが、自由自在にパソコンをあやつり、情報化時代における自己の確立を目的とするとともに会員相互の親睦を図ること。	福島 薫 090-3213-8002
ソ シ ア ル ダ ン ス ク ラ ブ	①比較的簡単なステップでダンスの楽しみと健康維持を目指します。 ②フォーメーションダンスを優雅に楽しく踊れることを目指します。 ③基本ステップの練習を通して、ダンスの基本技術の習得を目指します。 ④ダンスを通し会員の親睦を図り豊かな学生生活を楽しみます。	大畑 みえ子 080-1052-3681
江戸時代の古文書 を 読 む 会	江戸時代の古文書を読むことにより、当時の文化の鑑賞を目的とする。	原 義正 080-5003-5515
埼玉英語倶楽部	お互いの個性を尊重し英語学習を通して会員の親睦を深める。英語力を向上する事及び英語を通した国際文化交流につなげる事を目指します。	玉置 好孝 048-687-4752
む さ し 野 の 会	会員間の親交を深め、豊かな人間関係を形成する。 勉強会、小旅行等のイベント活動、パソコン楽習会、懇親会等を実施。	大野 隆司 090-8870-8816
健 康 体 操 研 究 会	毎日を健康に過ごせるよう、こころと体のバランスを目指します。ストレッチポール、棒等で体をほぐし、転倒予防の筋トレやウォーキング、肩こり・腰痛予防のダンシング、リンパ・血流を意識した手当の方法等、会員の親睦を深めながら健康体操を楽しみます。 講師 難波明美	泉 和年 090-7230-6930
バ ラ ン ス 体 操 “ 悠 悠 ”	健康の維持向上の為に、各種体操（練功18法、チベット、呼吸法、ストレッチ）気功、ウォーキング全般を行い“バランス”のとれた体作りを心がけています。心身ともにリラックスできる深い呼吸法を取り入れて、老化予防を目指します。“い（良）い・加減”をモットーとしています。	橋本 安義 090-4753-5317
Wienerwald Musikfreunde	二期会会員の福井克明先生の指導により、合唱を中心とした音楽を楽しむサークルです。けしてうまくはありませんが、2018年にはサークル名の由来でもある、ウィーンのペータース教会で公演しました。また、有志によるオペラ出演もあります。初心者の方にも正しい発声法から指導して頂きますので初歩から合唱を楽しめます。	南雲 功 i.nagumo1813@gmail.com
む ぎ の 会	・共に学び合いながら、学生生活を楽しく有意義なものにする。 ・出合いを楽しみながら、多くの皆様のご協力を得て、交流会・講演会・コンサート等の企画・運営をする。	福盛田 恵子 080-1242-7352

団 体 名	目 的	連 絡 先
舞 踏 研 究 会	①社交ダンス等が音楽に合わせて踊れるようになります。 ②初心者を中心にダンスの基本に立って学び合います。 ③体に不自由を感じる方も積極的に取り組めるダンスを目指します。 ④ダンスを踊る場や練習する場を提供します。 ⑤その成果を多彩な方法で発表します。 講師：文部科学省所管ダンス教室 より男女各一名	野畑 昭徳 090-3503-0960 a-deschamps@nifty.com
がん 哲 学 サークル 「 C O C O N 」	がん哲学カフェの開催を通して、放送大学学生の対人支援スキルの実践的な向上、がん患者の支援、および、放送大学学生の社会貢献を目的とする。	茂木 佐知子 gantetsu.cocon. ouj2020@gmail.com
リコーダーを奏でる会	リコーダーの歴史は古く、シェークスピア「ハムレット」にも登場します。その演奏はいったん途絶えますが、20世紀初頭に当時とほとんど楽器の形を変えずによみがえりました。それが小中学校で親しまれているその「笛」なのです。リコーダーを奏でる会で、リコーダーの豊かな響きとその奥深い世界を味わってください。 指導：放送大学非常勤講師 福井克明先生	小川 肇 bachjpjp@yahoo.ne.jp
学 習 支 援 会	学習支援会は、放送大学での学習環境の向上を目指し、幅広い層に対して学習支援を提供し、コミュニティのメンバーが学習意欲を高め、スキルや知識の向上を図りながら、学友との交流や共に成長できる環境を重視し、年齢や性別にとらわれず誰もが参加しやすいオープンなコミュニティを築き上げます。	遠藤 愛実 

埼玉学習センター関係団体

組 織 名	目 的	連 絡 先
埼 玉 C S C 交 流 会	本会は、放送大学埼玉学習センターの学生・サークル（C）、埼玉同窓学習会（S）、埼玉学習センター（C）の交流組織です。学生、同窓生、学習センター間の交流を深め、他の学習センター、地域との交流、社会等への貢献活動を行っています。また、9月の学園祭「埼玉フェスタ」や、入学者の集いでのサークル紹介・新入生との茶話会等を企画・実施しています。 <埼玉 CSC 交流会ウェブサイト> https://oujsaitama-csc.sunnyday.jp/	福盛田 恵子 saitama.cscnetwork.ouj@gmail.com
放送大学埼玉同窓会	年二回の機関紙「さくら草」の発行、埼玉フェスタへの参加などを通して、会員の親睦、情報交換、生涯教育を目指します。そのために、放送大学埼玉学習センター、CSC、他の放送大学同窓会と連携し、放送大学の発展に寄与します。	南雲 功 sakurasou.dousoukai@gmail.com

DVD再視聴施設

※ DVD 再視聴施設では配架していない放送教材がありますので、ご注意ください。
配架済放送教材のタイトルについては各施設へお問合せください。

埼玉学習センター三郷校 (DVD 再視聴施設)

〒 341-0004 三郷市上彦名 870
三郷市立瑞沼市民センター
JR 武蔵野線新三郷駅 西口下車徒歩 15 分
Tel 048-930-7759
休 館 日：年末年始
利用時間：9:00～21:00



埼玉学習センター三郷中央校 (DVD 再視聴施設)

〒 341-0038 三郷市中央 1 丁目 14-2
三郷中央におどりプラザ
つくばエクスプレス三郷中央駅徒歩 3 分
Tel 048-930-7759
休 館 日：年末年始
利用時間：9:00～21:00



埼玉学習センター和光校 (DVD 再視聴施設)

〒 351-0114 和光市本町 31-1
和光市図書館
東武東上線和光市駅 南口下車徒歩 8 分
Tel 048-463-8723
休 館 日：館内整理日 (第2、第4木曜日)
注：1月の第2木曜日は開館
注：第2、第4木曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館
年末年始、特別図書整理期間
利用時間：月曜日～金曜日 9:30～20:00
土・日・祝 9:30～18:00



放送大学本部・近隣の学習センター

放送大学本部

学 園 本 部	郵便番号	住 所	電話番号	最 寄 り 駅
	261-8586	千葉市美浜区若葉 2-11	043-276-5111	幕張駅（ＪＲ総武線） 海浜幕張駅（ＪＲ京葉線）

近隣の学習センター

セン タ ー 名	郵便番号	住 所	電話番号	最 寄 り 駅
茨 城	310-0056	水戸市文京 2-1-1 (茨城大学キャンパス内)	029-228-0683	水戸駅（ＪＲ常磐線他）
栃 木	321-0943	宇都宮市峰町 350 (宇都宮大学峰キャンパス内)	028-632-0572	宇都宮駅（ＪＲ宇都宮線他）
群 馬	371-0032	前橋市若宮町 1-13-2	027-230-1085	前橋駅（ＪＲ両毛線）
千 葉	261-8586	千葉市美浜区若葉 2-11 (放送大学本部敷地内)	043-298-4367	幕張駅（ＪＲ総武線） 海浜幕張駅（ＪＲ京葉線）
東 京 渋 谷	150-0043	渋谷区道玄坂 1-10-7 (五島育英会ビル 1 階)	03-5428-3011	渋谷駅（ＪＲ線、東急東横線、京王井ノ頭線、東京メトロ）
東 京 文 京	112-0012	文京区大塚 3-29-1 (筑波大学東京キャンパス内)	03-5395-8688	茗荷谷駅（地下鉄丸ノ内線）
東 京 足 立	120-0034	足立区千住 5-13-5 (学びピア 21 内)	03-5244-2760	北千住駅（地下鉄千代田線他）
東 京 多 摩	187-0045	小平市学園西町 1-29-1 (一橋大学小平国際キャンパス内)	042-349-3467	一橋学園駅（西武多摩湖線）
神 奈 川	232-8510	横浜市南区大岡 2-31-1	045-710-1910	弘明寺駅（市営地下鉄、京浜急行）
山 梨	400-0016	甲府市武田 4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)	055-251-2238	甲府駅（ＪＲ中央線）
長 野	392-0004	諏訪市諏訪 1-6-1	0266-58-2332	上諏訪駅（ＪＲ中央線）

放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp>

学習センターの教員

学習センター所長・特任教授

川 又 伸 彦（かわまた のぶひこ）

専門：憲法学

憲法学を専門としています。とくに、基本的人権をより手厚く保障するための裁判の在り方（憲法裁判）を研究しています。日本の問題を考えるにあたって、ドイツ憲法学における憲法裁判を比較考察の対象としています。現代のみならず、19世紀や20世紀のドイツの憲法裁判も考察しています。放送大学では、日本とドイツの社会的、文化的違いなども視野に入れながら、憲法の話ができればと思っています。

客員教授

伊 藤 博 明（いとう ひろあき）

専門：思想史・芸術論（人間と文化コース）

イタリアを中心として、ルネサンス期の思想と美術の関係、またバロック期のテキストとイメージ（図像）の関係をテーマとして、これまで研究を行ってきました。放送大学の授業においては、「星座の文化史」のように、広くヨーロッパの文化・思想・芸術を対象として講じています。民間のカルチャーセンターでは、占星術・錬金術・タロットなどのオカルトの分野についても、歴史的・理論的な観点からお話しています。

小 川 秀 樹（おがわ ひでき）

専門：新聞社経営、地域創生（社会と産業コース）

埼玉県庁の記者を皮切りに埼玉新聞社で報道、営業、経営に携わってきました。報道現場と企業経営の経験から、ローカルメディアの未来を考えています。無料デジタルメディアが地球を席巻する中で、有料プリントメディアは生き残れるのか。そしてローカルメディアは、地域づくりのために何に取り組むべきなのか。放送大学の学びの中から、地域への関心が高まり、地域参画する方が増えるとうれしいです。

神 庭 純 子（かみにわ じゅんこ）

専門：看護学（生活と福祉コース）

看護学の中でも特に公衆衛生看護や家族看護、看護教育について専門にしています。ナイチンゲール看護論を基盤にして、地域で暮らすすべての人々の健康づくりや生活づくり、家族としての成長を支える看護のあり方について考えていこうと思います。皆さんとの語らいを通して共に学び合うことができればと願っています。

河 村 ち ひ ろ（かわむら ちひろ）

専門：社会福祉（生活と福祉コース）

専門は社会福祉です。特に障害のある人々の生活と福祉に関わる諸課題について学び考えてきました。精神保健福祉領域を主な対象として、病気や障害を経験している人々の視点からみた支援や施策のあり方をさぐる研究を続けています。現代のしくみに至る過程を振り返りながら、生活者、つまりは私たち一人一人の視点で社会保障・社会福祉のあり方を考える時間を学生の皆さんと共有するのを楽しみにしています。

小 澤 基 弘 (こざわ もとひろ)

専門：絵画、絵画教育（人間と文化コース）

私は絵画、特に現代絵画を専門にしています。制作者であると同時に絵画教育、美術教育に対する研究も行っています。即興的な素描表現であるドローイングを主な手立てにしています。ドローイングとはラフガキみたいなものです。誰もが描けます。皆さんも絵を描きなくなったら、いつでもご相談下さい。

島 村 徹 也 (しまむら てつや)

専門：情報工学、信号処理（情報コース）

情報工学を専門としております。AI を用いた、音声や画像や通信システムなどへの応用を研究していますが、元々は「信号」を如何に巧みに処理するかという、信号処理アルゴリズムの理論家でした。工学、理学にまたがる数学や技術系の話ができると思います。マルチメディアと呼ばれる分野のコアには、かなり共通した考え方がありますが、これらをわかりやすくお伝えできればと思います。お気軽に相談にいらしてください。

田 中 信 行 (たなか のぶゆき)

専門：気象学、防災気象学・気象災害（自然と環境コース）

私は気象庁で、天気予報、防災気象情報の改善、学生指導、職員研修等の仕事に携わってきました。台風、竜巻、地球温暖化、エル・ニーニョなど、気象現象は多様かつ不思議の宝庫です。これらについて、知識や理解を深めていきましょう。また、気象学の基礎となる物理学についてもご相談に乗れるかと思っています。授業では、現象のメカニズムの理解に主眼を置いたわかりやすい話ができればと思っています。

二 宮 裕 之 (にのみや ひろゆき)

専門：教科教育学（算数・数学）、教師教育（心理と教育コース）

小・中・高校の教員養成や教員研修に関わる仕事をしています。主たる研究テーマは教科の学習指導で、特に算数・数学に焦点を当てています。学校で教科を学ぶことの意味や意義、学習の目的などに関する「目標論」（なぜ、何のために勉強するのか）を踏まえ、教科の内容、学習・指導の方法、更にはその評価について研究しています。また、算数・数学の学習内容、教師の指導力向上・授業改善、家庭学習、国際教育協力、などにも取り組んでいます。

廣 瀬 卓 司 (ひろせ たくじ)

専門：有機化学、高分子化学・身のまわりの化学（自然と環境コース）

高分子材料を含む有機化合物の合成と性質を調べることを専門としていました。有機化合物は、衣料品、生活用品、電子機器、そして医薬品など我々の身のまわりにあふれています。そして、その性質や機能は、構造に由来する基本的性質、また他の有機化合物や無機化合物との組合せによって決まります。これまで、国立の研究所と大学に勤務し、気体を分ける高分子材料、立体的な非対称性をもつ分子、円形の液晶分子などを合成し、性質を調べてきました。放送大学では、有機化合物の構造と基本的な性質をその歴史とともにお伝えしたいと思っています。ご質問等ありましたら、ご連絡下さい。

客員准教授

江 口 幸 治（えぐち こうじ）

専門：民法（社会と産業コース）

専門は、私たちの生活に関する権利義務を定める民法です。民法は、制定後 120 年を過ぎた今も現役の法律ですが、さすがに最近は改正されることが増えました。特に債権法や家族法の改正は、今までにない大幅なものです。民法の改正が、私たちの生活にどのような変化をもたらすのか、様々な事例を検討しながら、みなさんと考えて行きたいと思います。

梶 原 直 樹（かじはら なおき）

専門：学習心理学（心理と教育コース）

専門は、学習心理学です。人の行動が変容するからくりを明らかにしようとする分野です。ネズミを使った実験なども行っていました。埼玉学習センターでは、心理学実験と心理検査法基礎実習の、どちらも実習をともなう授業をもっています。放送大学には、いろいろな年代の、勉強に積極的な方がたくさんいるので、授業がとても楽しいです。そのような方々と、授業以外でもかかわれるのが楽しみです。どうぞよろしくお願いします。

二 宮 祐（にのみや ゆう）

専門：高等教育論、教育社会学（心理と教育コース）

戦後日本の大学政策、現代の大学教育のあり方、若者の学習と働き方の関係について研究しています。大学について深く考えてみたい、若者のキャリアや職業観についてもっとよく知りたいなどの相談に応じます。また、大学や若者に関することだけではなく、教育と社会の関係全般に関して学生自らが問いを設定して考察するためのお手伝いをいたします。大学とは何か、若者とは何か、一緒に考えてみましょう。

濱 中 眞 人（はまなか まさと）

専門：中小企業論（社会と産業コース）

日本の企業の 99%以上が「多様性」を特長のひとつにした中小企業です。長年にわたり中小企業の経営支援に携わっている経験から、事業環境の変化を受ける中小企業、「理論」と「実践」を交えた講義を通じて、学生さんとの意見交換も大切にしながら、「中小企業に興味を持つ学生」が増えてくれることを目指した講義にしたいと思います。また、今後中小企業の経営に必要となる可能性がある「社会性」にも踏み込んでいければと考えています。

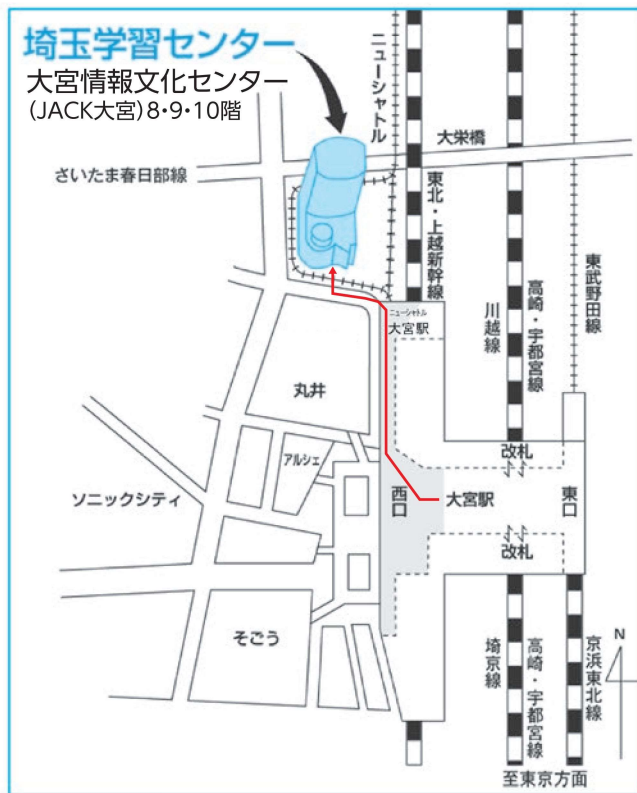
渡 辺 大 輔（わたなべ だいすけ）

専門：教育学、ジェンダー／セクシュアリティ教育（心理と教育コース）

専門は教育学です。その中で、ジェンダー・セクシュアリティをめぐる教育の課題について研究しています。あらゆるジェンダーやセクシュアリティの人が主体となれる学校や教育とはどのようなものなのか、学校の先生方と共に包括性教育のカリキュラムや教材を考えたりしています。私たちの生涯にわたる人権である性の多様性が尊重される教育を考えていきましょう。

埼玉学習センター

〒 330-0853 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター(JACK 大宮ビル)
8・9・10 階
TEL:048-650-2611 FAX:048-650-2615
Email (問合せ等): saitama-sc@ouj.ac.jp
ウェブサイト: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>
JR 大宮駅西口から徒歩 5 分



埼玉学習センターの
ウェブサイトに写真
付きでアクセス方法
を掲載しております。

J R大宮駅西口(駅構内2階)から、埼玉新都市交通(ニューシャトル)大宮駅に向かって駅構内(2階)を歩き、改札口手前左側扉から駅構外に出ます。次に、連絡通路を右側に進むと、前方右側少し奥に18階建ての建物が見えてきます。これが JACK 大宮ビルです。放送大学埼玉学習センターは、この建物の8・9・10階の3フロアにあります。事務室は10階です。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

放送大学埼玉学習センター

発 行 2025年4月1日

所在地 〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2
JACK大宮ビル (8・9・10階)

電 話 048-650-2611 (代表)

URL : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

氏 名

学 生 番 号

—

—